

ご家族でお読み頂きたい！
一心寺だより

夢と望

第25号 2017年 5月

わかきとき

仏法はたしなめ

としよれば、行歩もかなわず、
ねむたくもあるなり。ただ、わかきとき、
たしなめ。

蓮如上人



【葬儀】 そうぎ

三月十二日（日）、一心寺前々坊守
法名踊心院釋尼慈照（俗名前田照子）
の葬儀を営みました。

命終した三月八日以降、大勢の方々
にお焼香いただきました事、深く御礼
申し上げます。

祖母が棺の中で、手に念珠を握り、
花に囲まれている姿を眺めながら…、

「人間は、生まれてくる時も棺に入る
時も、自分の力ではかなわないんだな
あ…。誰かの手を借りなきゃ何もでき
ないんだなあ…。」

「みんなが自分の顔を覗き込み、みん
なに声をかけられて…、この世に迎え
られた時も、見送られる時も同じ姿。
生と死はいつも、周囲の人に見守られ
てあるんだなあ…」と、棺の中の祖母
から教えてもらったことでした。

南無阿弥陀仏

合掌

君

は大学で何を勉強しているんだ？」

私が学生だった頃、アルバイト先の店長に聞かれた時のことです。私が「仏教です」と答えると……、

「仏教か…何の飯の足

しにもならんなあ…」と笑って言いながら、店長はその場を立ち去りました。

その時私は「……??僕は、ご飯を食べるために仏教を学んでいるのか?将来はお寺を継ぐ訳だから、そりゃそうなんだけど…」と、心の中に何かモヤモヤとした、スッキリしないモノを抱えていたのです。

確かに、仏教を学んで儲かるかというところ…難しいかもしれません。そもそも儲かる為にお釈迦さまは覚りを開かれたわけではないので…儲かる為の教えはどこにも書かれていません(笑)。しかしながらこの店長の言葉は、私にとっても大事な問いをくださいました。

儲かるか儲からないか(損得)、成功か失敗か(勝負)、自分自身や家族の健康のこと、お金のこと、仕事のこと、人間関係のことなど、私たちは個々にそれぞれ日常の関心を持って生活しています。そのどれもが、生活する上ではとても大切な問題ではありますが…、しかし、そういった日常の関心だけで人間は生きていけるだろうか…?と考えると、そうでもないように思います。

私はどうして「私」に生まれてきたんだろう?私が「私」に生まれてきた意味は…?私の人生って、何なんだろう…?私の人生にはどんな意味があるのだろうか?私はこのままでいいのだろうか…?どうして私だけこんなに辛い目に合うのだろうか?私は死んだらどうなるのだろうか…? etc…

ふとした時や近しい人の死に出あった時は、自らの死を意識して生と死を考えたり、人生を振り返ったり、生き方や日常を省みることがあると思います。

また、これは老若男女問わず、誰もが抱く関心です。私自身、幼少の時「どうして僕は、僕に生まれたんだろう?」と悩み苦しんでい

た時期がありました。学生の頃にも、人生をどう生きたいのか?と自問自答しながら悶々と過ごしていた時期がありました。幼い我が子が「お父さん、死ぬってなあに?」と突然聞いてきたこともあり、「私には宗教は必要ない!」と豪語しておられた方が、病を患ってからは、仏教書を読みふけていたこともありました。

日常の関心の奥深くにある、非日常の関心(生と死・いのち・人生に対する関心)は、人間として生きている証であり、それを「宗教的関心」と言うのだと思います。「宗教的関心」を持って生きることが、人間らしく生き、死んでいくことになるのだと思います。

なぜなら、「宗教的関心」とは「本当に大事にすべき事・大事にしたいと思う事を求める心」だからです。いつかは終わるいのちを今、生きている。今日、明日、いつなかわからないけれど、「私」はここから居なくなる(無常)と自覚すると、限りある人生において「本当に大事にすべき事・大事にしたいと思う事」が明確になります。そして、時間やお金の使い方、価値観、生き方、大事にする事が変わってくるのだと思います。

日常の関心は、「私」が生きていることを前提とした事、宗教的関心は、「私」がいなくなることを前提とした事、と言ってもいいかと思います。

日常の関心のままで仏教を聞いても、飯の足しにはならないでしょう。生活の役にも立たないでしょう。おもしろくもなんともないかもしれません。しかし、人間が抱える根本的な問題(生と死・いのち・人生の問題)に答えられるのは、仏教はじめ宗教しかありません。なぜなら、「私」より先に、いのち・人生に苦しみ悩み、答えを求めて生きられた無数の人々の人生が、「智慧」「教え」として、今、「私」にまで伝えられているからです。

そして「宗教的関心」を育んでくれる場がお寺であり、私に指導してくれる先生が、仏さま・ご先祖様・経典なのでしょう。どうぞお寺にお参り下さい(^-^)

言

心と口に・・・



父の十三回忌を迎えました。
読経中、子どもの頃に父がよく神社仏閣に連れて行ってくれたことを思い出しました。当時の私にはよくわからなかったのですが、大人になった今、こうして法事を勤めたり、お寺にお参りしたり、毎月お寺さんに来てもらって正信偈をお勤めしていると、「この一ヶ月、どんなことがあったかなあ？」などと日常を振り返ったり、いろんなことを考えるたいせつな時間となっています。普通は、声を出して読むことに集中するものかもしれませんが…。それがたいせつな時間だと思えるようになったのも、父のおかげかな…と、少しだけ大人になった気がします。

(K.M.さん 御尊父様の十三回忌法要にて)

死別を体験した皆様へ

「最近、眠れていますか」

葬儀の後、日常に戻っても「なかなか落ち着かなくて…」と睡眠不足になりがちです。

そこに居たはずの人がいなくなると、生活そのものが変わってしまいます。また、孤独や虚しさに襲われたり…。布団に入っても、過去の事や、目の前の現実のしなければならぬ事に追われて、あれこれと考えてしまったりして、眠れなくなることがあります。

亡き方との関係が近いほど、生活の変化、心に及ぼす影響は大きいものです。睡眠不足になると、身体の健康や心のバランスを崩しやすくなります。

あまり焦らず、考えすぎず、リラックスで

一心寺実行委員会 (第一回)

6月 11日(日)

午後 1時 ~ 午後 3時 (本堂にて)

2020年(平成32年)、一心寺は説教所「石坂会所」から数えて120年を迎えます。その記念すべき年に宗祖親鸞聖人750回御遠忌法要を厳修したいと考えております。

現在、築50年を迎える建物は老朽化が進み、大幅な改修工事を必要としています。法要に向けての準備とともに、建物のメンテナンスを合わせて進めていきたいと考えております。

価値観の多様化、生活スタイルの多様化、宗教観の多様化など、急速に変化する現代社会において、仏教寺院に求められること、一心寺の存在意義など、住職3年目を迎えたところで、今一度、皆様のお知恵とご意見を頂戴したく存じます。

そこで、上記のとおり実行委員会を開催します。ご無理のないところで結構ですので、ご出席・ご協力頂けると幸甚に存じます。

何卒、宜しくお願い申し上げます。

住職 釋健雄



きる時間を過ごすことを大切にしてください。

また、悲しみ・怒り・後悔などの感情は自然な心の作用です。感情に蓋をせず、誰かに話をすることによって、ずいぶんと楽になることがあります。

「最近眠れてないな…。少ししんどいかな…」そんな時は、どうぞ遠慮なくご連絡ください。

毎月12日は、定例法話の日。

どなたでも参加いただけます。
一緒に声を出しての勤行と法話。
念珠・勤行本(赤本)をご持参ください。



午前 10時～正午 勤行(正信偈 / 勤行稽古)・法話
午後 1時～3時 勤行(阿弥陀経 / 祥月総供養)・法話

6月12日(月) 講師: 川口賢司先生(飛鳥村 無量寺住職)

7月12日(水) 講師: 荒山 信先生(昭和区 恵林寺住職)

婦人会 (毎月22日)

5月22日(月) 10:00～12:00

6月22日(木) 10:00～12:00

おみがき

7月22日(土) 10:00～12:00



お盆を迎える前に、仏具のおみがきをします!

仏具の取り扱い方、正しいお荘厳もお伝えします。

おみがきすると、不思議と心もピカピカに磨いたようにスッキリしますよ!

※初めての方も大歓迎!

動きやすい服装で!



お盆ににがおえ

似顔絵募集



思い出に残る、たいせつな方の似顔絵を描いてお盆を迎えませんか?

ウラボンエ

8月12日(土)～15日(火)の4日間、一心寺では盂蘭盆会(お盆の法要)が勤まります。

期間中、似顔絵をお飾りして法要を勤めます。どうぞご参加ください。

【募集要項】 ※お盆なので、亡くなった方の似顔絵をお描きください。

大きさ: **A4サイズ**(用紙材質は問いません。画用紙、コピー紙、和紙、なんでも結構です。)

色: 鉛筆、マジック、クレヨン、水彩画、水墨画、何でも結構です。

締切: 盂蘭盆会当日にご持参いただいても結構です。

郵送の際は、コチラまで ⇨ 〒468-0076 名古屋市天白区八事石坂 107 一心寺

しょう しん げ 正信偈 心

の美学



なんだか最近うまくいかないな、、、
疲れちゃったな、、、
元気出ないかな、、、

そんな時は、声を出して一緒に勤行してみませんか？
少しずつ、何かが変わっていくかもしれません。
自分さがしを「お寺」でしてみませんか？
もちろん、仏教に興味・関心・疑問？のある方も大歓迎！

2,600年以上、人間の苦しみ悩みに寄り添ってきた歴史が
仏教にはあります。
声を出してお経を読むと心も身体もスッキリ！
健康にも良いですよ！
ご参加、心よりお待ちしております。

毎月 第3金曜日(午後7時~8時半)

参加費：無料(どなたでも参加いただけます)

内容：一緒に声を出してお経を読みます。

ミニ法話があります。

あなたのお話、お聴きします。

5/19(金)・6/16(金)・7/21(金)



一心寺 共同墓

いつでも、自由にお参りいただけます。

毎月28日、午前11時頃 墓前勤行。



- ◆ 冥加金：10万円以上(一体につき)【納骨8万円・管理費2万円】
- ◆ 一度納骨されたお骨は、返却、改葬はできません。
- ◆ 場所は、名城大グラウンド向かい「東八事霊苑」内です。
- ◆ お問い合わせ：TEL (052) 831-0178

東別院 老いと病のための心の相談室

老い、病、死の問題をはじめ、生きることに悩む方々の心に寄り添う相談室です。

相談は費用無料。秘密厳守ですので、お気軽にお電話ください。

電話相談 052-331-9580 (平日 午後1時~午後4時)

面接相談 (要予約) 052-331-9580

医療相談 (月1回・要予約)

担当医師は竹内 徹(中メンタルクリニック院長)

7月19日(水)(予定) 052-331-9580



はなまつり



4/8はお釈迦さまの誕生日。

みんなで小さなお釈迦さまに甘茶をかけて、みんなのいのちをお祝いしました。
ご参加くださった皆様、スタッフの皆様、ご協力くださった皆様に心から感謝申し上げます。
阿弥陀如来さんが、微笑んでいるように見えた法要でした(^-^)



【参加者の感想】

はなまつりに参加させていただき、有難うございました。

娘もとても楽しかったようで、保育園の新しいクラスで『お休みにお化粧してお散歩したんだよ～って、お友達や先生にお話したの～♪』なんて申しておりました。

新学期等の環境の変化に弱く、普段は体調を崩したりする娘ですが、いつもどおり笑顔で通えているのは参加させていただいたことによってモチベーションがあがっているおかげだと思っております。

いつかはさせたいな、と思っていたお稚児さんを、ずっとお世話になっている一心寺さんでしていただき、私も嬉しい「はなまつり」となりました。

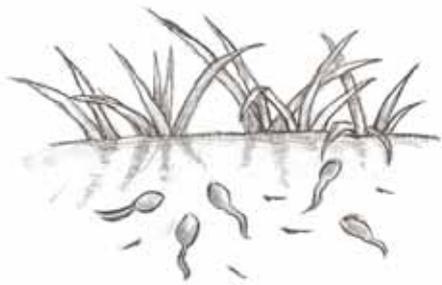
(M.T.さん)



食前の言葉

み光のもと

我今、幸いに
この清き食を受く。
いただきます。



食後の言葉

我今、

この清き食を終わりと
心豊かに、力身に満つ
ごらそうさま。



インターネットをされる方

一心寺のブログ

検索

<https://ameblo.jp/ocean-otosan>



平成29年(2017年)年回忌法要一覧

一周忌	…	平成28年(2016年)逝去
三回忌	…	平成27年(2015年)逝去
七回忌	…	平成23年(2011年)逝去
十三回忌	…	平成17年(2005年)逝去
十七回忌	…	平成13年(2001年)逝去
二十三回忌	…	平成7年(1995年)逝去
二十七回忌	…	平成3年(1991年)逝去
三十三回忌	…	昭和60年(1985年)逝去
三十七回忌	…	昭和56年(1981年)逝去
四十三回忌	…	昭和50年(1975年)逝去
四十七回忌	…	昭和46年(1971年)逝去
五十回忌	…	昭和43年(1968年)逝去

年忌法要の他、祥月命日(毎年のご命日)のお参りも承ります。ぜひご連絡ください。

雑感：ページ数が増えてしまいました…(^_^);
ご迷惑でしたら…すみませんm(_ _)m

時々、「楽しみに読ませてもらってますよ」
なんてお言葉を頂くと、も〜うれしくて♪
うれしくて♪心が躍っちゃいます♪夜中まで
頑張った甲斐があったなあ〜(>_<)と…
努力が報われた気がします。

先日は法事が終わった後に「今日の法事は
今までで最高の法事だった！本当にありが
とう！来て良かった！」と、ご親族の方が
深々と頭を下げておっしゃってくださいま
した。うれしかったあ〜♪(^o^)

「ありがとう」って言われると、こんなにも
嬉しくて、幸せな気分になれて、そして力
が湧いてくるんだなあ…と、改めて気がつ
きました。

「ありがとう」がいっぱい言える生活、「あ
りがとう」をいっぱい言ってもらえる生活
ができると、幸せだろうなあ〜。 釋 健雄

日本一、笑顔の集まるお寺に！

真宗大谷派 一心寺

〒468-0076 名古屋市天白区八事石坂 107

TEL 052-831-0178/Cell 090-3302-0517 Fax 052-833-1840

email: isshinji@icloud.com